

八王子市生涯学習審議会会議録

会 議 名	平成 29 年 11 月 八王子市生涯学習審議会
日 時	平成 29 年 11 月 8 日 (水) 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
場 所	八王子市生涯学習センター 第 2 学習室
出席者氏名	委 員 三浦 眞一 岡本 夢乃 石川 智子 碓井 恵夫 小倉 艶子 加藤 方浩 小林 正博 丹間 康仁 永村 隆 村上 ひろみ
	事務局 平塚生涯学習政策課長 浅岡学習支援課長 太田中央図書館長 新納生涯学習センター図書館長 福田川口図書館長 高木生涯学習政策課主査 塩澤生涯学習政策課主査 杉山生涯学習政策課主査 平野生涯学習政策課主事
欠 席 委 員	浅井 揚三・炭谷 晃男・守屋 和広
議 事 案 件	《議題》 生涯学習プランの現状、課題の整理について
	《報告事項》 ①平成 28 年度包括外部監査結果に基づく措置について ②図書館サービスの基本的な考え方 (中間まとめ) ③東京都市町村社会教育委員連絡協議会 関連行事について ④教育委員会定例会における関連事項について
事 務 局	<p>1. 開 会</p> <p>2. 定足数の確認 出席者 10 名、会議の成立を確認</p> <p>3. 会議録署名委員 丹間委員を指名</p> <p>4. 11 月 1 日付異動について</p> <p>5. 議 事</p> <p>議事案件 生涯学習プランの現状、課題の整理について</p> <p>議題に入る前に平成 28 年度生涯学習関連事業評価について完成したものをお配りしている。過去 2 回にわたりご意見を頂き感謝申し上げます。 委員の皆様から頂いたご意見を反映し、文言の整理などを行い、11 月 1 日の平成 29 年度第 12 回教育定例会にて報告済みであり、本日の審議会終了後に市の Web サイト等に掲載する。</p>

1 趣旨

現行の八王子市生涯学習プラン（以下、「現行プラン」という。）の計画期間が平成 31 年度で終了する。平成 32 年度からを計画期間とする新プラン策定に向けた作業を平成 30 年度から開始するにあたり、現行のプランの施策の展開に対する主な取り組みの現況を概観し、現行プラン策定後の生涯学習をとりまく状況の変化、平成 28 年度までの現行プランの進捗状況等を整理することを本議題の目的とする。

2 生涯学習推進のための視点

現行プランでは生涯学習推進のための視点として 7 つの視点を盛り込んでいる。中でも新たな視点として 3 つの視点を盛り込んでおり、4 つについては従来からの継続的な視点となっている。

新たな視点

(1) 子どもの頃から始める学びの基礎づくり

(2) 現役世代の生涯学習に対する配慮

・平成 28 年度市政世論調査においても、「生涯学習活動に取り組んでいない」と回答した 30 歳から 64 歳までの現役世代の方の割合は、他世代より高い。

(3) 高齢者の力を活かす

継続的課題

(4) 市民との協働によるネットワーク型生涯学習の推進

(5) 学びの成果を活かす

(6) 共同参画、共生社会の実現

(7) 分かりやすい生涯学習情報の収集と提供

・各事業の広報活動の充実（事業の対象者に応じた効果的、効率的な情報発信）

3 基本施策ごとの施策の展開

現行プランでは 4 つの基本施策を柱に掲げている。

基本施策 1 子どもの頃から始める学びの基礎づくり

基本施策 2 誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり

基本施策 3 学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進

基本施策 4 生涯学習環境の充実

	<p>現行プラン策定以降、地域学校協働活動の普及や家庭教育支援の展開など生涯学習をとりまく環境の変化などもあったと思うが、それらも踏まえて施策ごとの主な取組についての進捗状況等についてご議論いただきたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>現行プランについて進捗状況や課題を整理・把握し、見直しを行いたいということであるが、現行プランは非常に多岐にわたるものであるため整理が必要である。まずは、生涯学習推進のための新たな視点として挙げられている3つの視点についてご意見を賜りたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>それから、生涯学習推進のための視点があるが、八王子市の学園都市としての特異性など「八王子らしさ」が見えてこない。現行プランのテーマでもある「つながる」という視点にかけるのではないかな。</p>
<p>委 員</p>	<p>(1) 子どもの頃から始める学びの基礎づくりについて 体験型の学習の提供について、文化・芸術について取り入れると子どもたちの表現力が高まり、生きる力に結びつくのではないかな。</p>
<p>委 員</p>	<p>現行プランにおいて新たな視点となったこれら3つの視点は世代で分ける視点も悪くないが、地域で分ける必要を感じる。29年度の市政世論調査にもあるが、八王子市は地域により多様性があるので地域に特化した情報が欲しいというものである。このことから地域性というのも施策の柱にして欲しい。 また世論調査では、この1年間に生涯学習に取り組んだかという問いでは、北野地域・西部地域・西南部地域において消極的な姿勢が伺える。 3点目に、読書のまち推進計画についてだが、パブリックコメントにおいてもっと身近に図書館・地区図書室が欲しいという声が挙げられている。それについては中央図書館の方で推進担当が新設されているようだ。いずれにせよ、地域による落ち込みがあるので改善ないし推進が必要ではなからうか。以上のようなことから地域性の視点は欠かせないと感じる。</p>
<p>会 長</p>	<p>委員から一方的に意見をすることも良くないので、事務局からも何か意見は無いかな。</p>
<p>生涯学習政策課長</p>	<p>新生涯学習プラン策定に向けての全体の流れとしては、来年度後半に改めて正式に諮問させていただく。それから半年ほどかけて集中的にご議論いただくことになる。今日はそれに向けて自由な意見をいただく場である。</p>
<p>委 員</p>	<p>小学校のプログラム学習をやっていて感じたことがある。「〇×ゲーム」の必勝法を探るプログラミングを授業でやったが、子どもたちにぎこちない雰囲気を感じた。思うに、今の子どもたちはデジタルに慣れきってしまっていてアナログなことに慣れていないのだと感じる。我々人間は本来的にはアナログに適しているのだと思うが、体験して学ぶような機会が乏しい。アナログで生きてきた</p>

		<p>高齢世代が子どもたちに体験学習を通じた交流というのも八王子らしさが出せるのではないか。</p>
会	長	<p>デジタル社会となった今日においてもアナログ思考、体験学習も重要だという指摘を頂いたが、そういった活動をされている方のご意見を賜りたい。</p>
委	員	<p>野外活動や縦割り社会への参加が必要と感じるが、最近ではカリキュラム増により、子どもたちがそういった活動に参加する時間が削られている。私は子ども会の活動を行っているが、自分の都合でわが子を子ども会から抜けさせてしまう親が増加傾向にある。親がそういった活動に率先して取り組み、親子で地域活動に参加するべきである。</p>
委	員	<p>岡本委員の意見に同感である。子どもだけ参加すればよいわけではなく地域の中でも親子で参加できるような活動が望ましい。学校や保育園といった集団に入ってしまうと頼むだけ、預けるだけになってしまう。色々な場面で親子一緒に参加したり、人との関わりを持つべきである。</p>
委	員	<p>親子で、ということであるが、何かイベントがあっても壁を感じる人が多いのだと感じる。それは大きなイベントほど入りにくい。身近で公園でやっているような気軽に参加できるイベントがそこらにあると良い。</p> <p>場合によっては、学生に参加させても良い。ただ、最近では、ちょっとしたことがあるとすぐに責任問題が出てくるのが課題ではある。いずれにせよ小規模な催しがあちこちであるのが望ましい。</p>
委	員	<p>(すぐに責任問題がでてくる話に関連して) 私が今日、参加したイベントでも腕白な子どもが怪我しそうでヒヤヒヤした場面があった。また、そういったイベントでは参加者を集めるのも課題である。全体的に周知しても、応募が来ず、個別に誘いをかけないと集まらないケースも多いことを実感している。</p>
委	員	<p>2020年からの5年間を対象とした新プランを作成するに向けて、新たな視点をどうしていくのかというのは、新プランの根幹となる部分であるので、時代状況に目を向ける必要がある。親子の関係なども時代の変遷とともに変わっていくので、八王子らしさも大事だが、その時代らしさを反映したような内容が望ましい。</p>
会	長	<p>今、現行プランの新たな3つの視点としてご意見を頂いたが、他に発言されたい方がいれば、お伺いする。</p>
委	員	<p>私は多摩ニュータウンに入居して今年35年になるが、ニュータウン造成開始してからは早い方の入居である。学校も統廃合が進んでいる。ベッドタウンとして発展したこの街であるが、昔は、昼間、外に出稼ぎに出ている男性たちが今は、まちに戻ってきており、活用しない手は無い。元気で知恵や力を兼ね備</p>

	<p>えた魅力的な人々で溢れているので今が旬といっても良く、まち再生のきっかけとなる。それにはやはり、行政も一緒に参加して欲しい。今日のイベントは都立公園で行ったところ、都が取材に来てくれた。箱物を作らないと何もできないと考える人も多いが、そのような物を作らずとも立派な子育てはできるのだということを示すことができた。もっと市民の力・活動に目を向けて欲しい。</p>
<p>会 長</p>	<p>時間の都合もあるため、今後においてもまたご意見をいただけたらと思う。つづいて、継続的な課題（４）～（７）について御意見を賜りたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>（７）分かりやすい生涯学習情報の収集と提供について 私はいちょう塾で講座をやっていたものをサークル化して、八王子の歴史講座関連の情報を Web サイトにアップしている。役所の組織は縦割りであるため、そういった情報が一括で網羅されて欲しい。</p>
<p>会 長</p>	<p>４つの継続的な課題をまとめて意見するのは難しいと思う。 （４）市民との協働によるネットワーク型生涯学習の推進 （５）学びの成果を活かす あたりから見ていくのはどうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>（上記とは直接関連しないが）、全般的な話というか、施策４ 生涯学習環境の充実の施設の有効活用と開放について、数が全てではないが、５つの事業しかない。プランを策定して１～２年が経過し、生涯学習関連事業評価を見ると後追いの感じがする。そうではなく、施策を立てる時にこの項目については、具体的にはどういうものが現在あるのか、なければ、もう少しこういうものを加えたら良いのか、というのを考えるのが行政の仕事ではないか。 良いと思う施策を１つ挙げると、学校開放教室である。行政が上手くコーディネートした良い例である。そういうように、何か主として特定の分野でこういうことは今どれくらいあって、さらにこういう観点からこういう事業が必要ではないか。無ければ、協働などの形で市民や団体に働きかける、計画を持っていくのが良いのではないか。</p>
<p>会 長</p>	<p>あまり難しく捉えずに、実体験や実際の事業を絡めた意見を頂けると大変参考になる。</p>
<p>委 員</p>	<p>（５）学びの成果を活かすについて 教育基本法に定められた理念からしても「学びの成果を活かす」というのは非常に重要なことである。市民の自由で主体的な生涯学習という観点からも難しいかもしれないが、何に活かすか、何に役立てるかといった部分も議論していったら良い。 また、学び・生涯学習活動といった時にイメージするものが市民と我々、また個人ごとで全く違うだろう。アンケートでは１年間の間に生涯学習に取り組んだかどうかの設問に対し、約３割が全く取り組んでいないと回答しているが、</p>

	<p>人は生きていれば何かしら学んでいくものであり、本当に何も学んでいない人は少数だろう。「学び」という言葉に対するイメージや捉え方と「生涯学習」という言葉に対するそれは違うはずであり、議論の対象となるだろう。</p> <p>また、ただ市民の生涯学習活動が盛んになれば良いわけではなく、それがより良いまちづくりなどに繋がっていく事が望ましい。</p>
委員	<p>(5) 学びの成果を活かすについて</p> <p>直接関連した話ではないが、今日、学校の展示において市内大学生が協力をしてくれた。来てくれる学生は人のために何かをやることで目が輝く。もっと学ぼうという意欲が沸いているようである。人は一人で生きていくことはできないのだから、チームとして生きていく、人の役に立つ、ということが大事である。八王子らしさという面でもあり、八王子は学生が多く、手伝いに来てくれることが多いので学校としては非常に助かっている。</p>
委員	<p>(5) 学びの成果を活かすについて</p> <p>表現としては良いが、非常に難しい。要するに生涯学習の視点で学びの成果を活かすというのは、いわば最終段階である。まず、何か学びたいものを決め、サークルなど同学の人と学びを深め、教える立場になっていくという段階を踏まないといけず、そこまで到達するのが難しい。</p>
会長	<p>体得して教える立場になるのは集まった人のごく一部だけということであり、単純に楽しみだけを求めている人も多いが、内輪でこもっているだけになってしまう人も多い、ということか。</p>
委員	<p>「学びの成果を活かす」という最終段階を目指すよりもその一步前の「つながる」というのを目指した方が良いのではないか。講座に出て知識を深めた段階までの人は沢山いるだろう。それだけでは個人の学びであって、そういった人たちが集い、交流を発展させていくことが肝要ではないか。交流を深めることで次のステップに進みやすくなる。</p>
委員	<p>南大沢にて、公園に訪れた方向けに喫茶活動を行っているが、とても楽しい。若い人から多くのことを教えてもらえる。定年を迎えた男性たちも参加しているが、今まで接してこなかった若い世代と交流を持つことの良さを感じている。</p> <p>また、挨拶ができることは生き抜く力と直結していると感じる。日頃から意識しているわけではないが、声高に「学びを活かす」ということを意識せずとも一歩踏み出して、人と関わっていけば良いのではないかと感じる。</p>
会長	<p>皆さんのお話をお伺いしていると、「つなげる」というのが一つのキーワードになっており、準備する側も参加する側も楽しめるものでないといけないと感じる。</p>

委員	<p>高齢者の力を活かすという部分だが、高齢者は体験や経験を積み重ねてきており、それぞれ得意分野がある。私は人材バンクのコーディネーターをやっている。学校に田んぼがあり、稲や餅を作っており、余った藁を何か活かせないかと藁草履を作る話が出たが、今時そのようなものを作っている人は殆どいなく、夕焼け小焼け(ふれあいの里)の人を呼んだ。藁草履は一例であるが、文化継承というのは難しい。</p> <p>別の一例を挙げるが、陣馬太鼓の演奏を見たときに外人が演奏しているのを見かけた。外国の方が、日本文化に興味を持っていただいているが、そういったように外国の方が興味を持ってもらえるようなイベントの仕方や指導法があれば、貴重な文化を継承していけるのではないかと。</p> <p>いずれにせよ、そういう経験や体験の積み重ねが、学習の成果を活かすことに繋がるのではないかと感じる。</p>
委員	<p>先ほどから学んだ成果を活かすことが難しいという話をみなさんされているが、私の地元の浅川中学校には、全国に5校くらいしかないという栗山がある。昔は、栗の埋まっている斜面が荒れていたが、十数年前にボランティアグループを作り、整備を行ってきたが、メンバーの高齢化問題が顕在化している。そのような状況なので、定年後、家庭に戻られた男性達の力が借りられれば良い。</p> <p>最近の台風で土砂崩れがおき、校舎と栗山の間が土で埋まってしまったのだが、土をどけて元々あった木道を再整備するなど力を貸していただくだけで、それが、即ち学びの成果を活かすことになる。浅川中学校は今年70周年を迎えるため記念誌を作成したが、その中には栗山の歴史も盛り込まれている。今週にも栗山で自然観察会を行うが、もっと人が集まって欲しい。</p>
会長	<p>手法や人的資本を集めるのが課題といったことについて多くの意見を頂いているが、時間の都合もあるので先に進めさせていただく。</p> <p>3 基本施策ごとの施策の展開に進めさせていただく。 基本施策として、4つ掲げられている。</p> <p>まず、基本施策1 子どもの頃から始める学びの基礎づくりについて</p> <p>1-1 生きる力を育む子どもの学びと体験の充実 1-2 家庭教育の支援 1-3 学校教育活動の支援 1-4 地域の教育力を活かす・高める</p> <p>とそれぞれ分野ごとに分かれているが、これについて御意見を伺いたい。</p> <p>一遍にと言うと、幅が広がってしまうが、分野ごとに御意見を賜りたい。</p>

委員	<p>伝統文化について、八王子といえば車人形など複数挙げられるが、八王子が発祥の地でないものもある。例えば、東北の中野七頭舞や北陸のおわら風の舞などがあるが、これは八王子の文化といえるのか。私は、ある意味、これからつくっていく文化として肯定的であり、学校の授業に取り入れていくのも良いと思う。</p>
会長	<p>革新がないと、伝統は作れないとも言える。新たな文化をつくっていく視点と、今ある伝統文化をどう継承していくかという視点の両方が必要になってくる。</p>
委員	<p>八王子は、昔からある町並みとニュータウンが混合した土地である。新しい私たちは、それにどのように関わっていくかというのが課題でもある。</p>
委員	<p>市制 100 周年ということで色々な取組があるが、ニュータウンは 35 年の歴史しかない。多摩ニュータウンが今後 100 周年を迎えていくにつれて何かあっても良いと思う。多摩ニュータウンの子どもたちにとっては 100 周年というのは実感しづらい。伝統に言及してみると、ある中学校では開校以来ずっと合唱コンクールで課題曲を「大地讃頌」にしている、卒業式でも歌い上げるようにしており、小さなことだが、学校の伝統となっている。</p> <p>ニュータウンは地方出身者が多く、ふるさとのある人たちの集まりであり、新たな伝統をこれから作っていくのも良いと思う。</p>
生涯学習政策課長	<p>事務局の段取りが悪くて申し訳ない。本日は俯瞰的にご意見をいただけたらと思っていたが、個別にご意見をいただいた方が具体的な良いお話をいただけるようである。</p> <p>基本施策は 4 つ掲げているが、まだ時間も残り今後も継続審議が可能である。今日だけで全ての施策について意見をいただけなくても、進められるところまでで問題ない。</p>
会長	<p>了解しました。</p> <p>基本施策 1 子どもの頃から始める学びの基礎づくりの中で</p>
委員	<p>1-2 家庭教育の支援 1-3 学校教育活動の支援 1-4 地域の教育力を活かす・高める について御意見を賜りたい。</p> <p>1-3 学校教育活動の支援 について 八王子市内でもコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の取組では、子どもたちの学びを良い豊かにすることも大事であるが、コミュニティ・スクー</p>

		<p>ルに参加する大人たち自身の学びもある。</p> <p>それについては、基本施策1-3 学校教育活動の支援についてだけでなく先ほど話題にも出ていた継続的課題である「学びの成果を活かす」ということにも位置づけられるので、論点となるのではないか。</p>
会	長	<p>皆さんの中には、ボランティア活動をされている方も多くいらっしゃるので、実体験を交えた具体的なお話なども賜りたい。学校教育関係者からの意見などもいただきたい。</p>
委	員	<p>理想を申し上げると、色々な専門分野を持つ方を気軽に探せて呼べるような仕組みがあると望ましい。探すのに時間がかかってしまうと諦めざるを得ない。例えば、講座に関連したテーマについて、ちょっと小話をしてもらえるような人を見つけることができる。些細なことでも子どもたちにとっては、大人はみな先生であり、本人は謙遜するようなことでも子どもにとってはスゴイことであり得るのだから、もっと気軽に登録できるような好循環な仕組みが欲しい。終わった後に良い人を紹介されることがあるが、時既に遅しとなってしまふ。</p>
委	員	<p>私はレクリエーション協会に参加しているが、いくつかの市内小学校で昔遊びを教えたりスポーツを教えたりしているが、指導者バンクに登録していただき気軽に教えに来ていただいている。</p>
会	長	<p>そういった制度や仕組みの具体的な整備の仕方について、をどうするかということを考えていくことも重要である。</p>
委	員	<p>芸術関係の家族ワークショップを良くやるが、(色々な専門分野を持つ方とは)人のお付き合いを通して知り合うことがある。日本舞踊などの先生もただ、商売目的で生徒を増やしたいと思っっているわけではなく、純粋に楽しさを知らせたいと感じているようであり、子どもたちに体験教室を開くお手伝いをお願いできることもある。</p> <p>今春に獅子頭の教室を開催した。当初は、内容的に来てもらえるか心配だったが、案外、親子参加も多く好評であった。特に伝統芸能では、親子の片方でも興味を持ってもらえたのであれば、一緒に参加して楽しんでもらうのも良いと思う。</p>
会	長	<p>お話をお伺いしている感じだと、教育委員会の範疇で収まる話ではなさそうである。(自身の所属する)学園都市ふれあい財団でも32団体加盟しているが、内容は多岐に渡る。例えば、子どもたちは色々と楽器を習っていたりするが、そういったところで教えている先生たちの情報は取ろうと思えば取れるのか。</p>
	生涯学習政策課長	<p>技術・仕組み的にはできない話ではないかもしれないが、実際問題として実効性・実働性の観点としての課題がある。具体的に言うと、色々な所管で登録をするような仕組みは作れるはずだが、いざ市民が登録してくれるか、共感し</p>

<p>会長</p>	<p>て仕組みにのっかってくれるかが問題である。 民間では、特定のサービスを探している人と、それを提供できる人とを繋ぐ人材バンクの仕組みをベンチャー企業が立ち上げているが、マッチングが上手くいかず、仕組みと実効性に課題があるようである。</p> <p>市民活動推進部には色々な団体が登録されているはずだが、それらを活かすようなことはできないか。それが上手く機能していないことに問題があるのではないか、今後の課題である。</p>
<p>委員</p>	<p>私は学校コーディネーターとして学校運営協議会に関わらせてもらっている。例えば、地域の史跡を知りたいというような時には、学校運営協議会の構成委員である地域の町会の人や学識経験者などにお声かけし、来ていただいている。</p> <p>そういう意味では、学校運営協議会には有志の方や博識な方が多くいると思うが、他にも市民センターや地域図書室でも町会長など色々な経験者の方がいらっしゃる。地域の中で経験を積んできた方や地域を纏め上げて来た方を探して教えを請うことが大事なのではないかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>そういった施設の館長は、住民協議会などの会長であるケースが殆どであるから、まさに仰るような地域の人であり、そういった方に上手く活動していただいたり、情報提供していただけたりと良い。</p> <p>つづいて、基本施策2 誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくりについて御意見をいただきたい。</p> <p>2-1 身近で多様な学習機会の提供 2-2 読書のまち八王子の推進 2-3 八王子の特色を活かした文化芸術の振興 2-4 生涯スポーツ・レクリエーションの推進 2-5 高齢者の生きがいつくり 2-6 共同参画・共生社会の実現</p> <p>と6つに分かれているが、いずれに関してでも結構なので御意見を賜りたい。</p>
<p>委員</p>	<p>図書館に関する意見になるが、2-2 読書のまち八王子の推進で電子書籍の項目があるが、これは購入した電子書籍を充実させるという意味なのか、あるいは八王子市に特化されたような書籍を念頭に置いているのか、あるいは両方なのか。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>電子書籍に関しては、仰るとおり2つの視点があるが、前者（商品化された電子書籍の充実）に重点を置いている。蔵書としてストックされている書籍を電子化していくことについては、どうしても著作権の問題が出てくる。電子化</p>

<p>委員</p>	<p>に伴う費用や著作権の許諾と課題があるため、蔵書をデジタル媒体として整えていくことが難しい。電子書籍そのものは市場にそう多く出回っている物ではありません。本として楽しんでいただくというよりは、まずはデジタルとしての特性を活かしてアクセシビリティの観点から、障害者の方などにアクセスしやすい形で整えていくことを想定している。中々、電子書籍もタイトルが広がりを見せない様子を見ながら検討していく。</p> <p>とある小学校において、スマホを使った読書の環境を与えたら読書率が高まったと聞いている。子どもたちの生活導線の中に活字を取り込んでいくことが有効であるという考え方もある。</p> <p>これは要望になるが、いちよう塾にしても市民講座にしても八王子学とか八王子史のようなテーマで講座をやると多くの受講者が集まるが、実際に学んでいるサークルや人は多く存在するが、そういう人たちにとって必要なのは明治時代、近世の著作である。これらは著作権も切れているし、PDF化するのはそんなにお金もかからないと思う。ぜひ、それらのPDF化を少しずつでも進めてもらいたい。</p>
<p>会長 中央図書館長</p>	<p>都立図書館が閉鎖されて他館の資料が出てきていてICT化の案もあったと聞いているが。</p> <p>当時はそういう案もあったが、デジタル媒体化する費用や著作権の問題で進んでいない。(小林委員から)いただいた話は郷土資料館のリニューアルの話もあるので、そういった資料をどう保存していくのか連携して検討していきたい。図書館は書籍や資料の収集・保存という役割があるが、資料館も同様に文化的なもの収集・保存という役割がある。そういった資料をどう残していくかということについては、御意見を踏まえて検討していきたい。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>PDF化はちゃんとしたコピー機があれば難しい話ではなく、そんなにお金もかかる話ではない。1点2点でもやってみて欲しい。</p> <p>まずは、そういう意見を頂いたということで、時間の都合もあるため、</p> <p>基本施策2 誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり</p> <p>については、次回改めて御意見を賜りたい。</p> <p>続いて、報告事項について事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>《報告事項》</p> <p>①平成28年度包括外部監査結果に基づく措置について</p> <p>まず、報告趣旨について、平成28年度包括外部監査で指摘及び意見を受けたことから、これについての措置として平成29年9月1日付けで「八王子市図</p>

<p>中央図書館長</p>	<p>書館資料館外個人貸出しに関する要綱」を別紙の通り改正したので報告するものである。</p> <p>指摘・意見と申し上げたが、指摘というのは改善をなささいというものであり、意見とは改善を検討して下さいという違いである。</p> <p>報告内容としては、今回の監査の対象は要綱に定めのあるものであり、図書館では、八王子市図書館資料館外個人貸出しに関する要綱が監査対象となった。</p> <p>また、監査の基本的視点の一つとして、要綱における定めが上位法との関係において適切となっているか、また権利義務に関する規定が適切に定められているかという視点があった。</p> <p>そして、今回の指摘事項は、当該要綱では、利用者が貸出期間経過後1か月を超えて当該図書館資料を返納しないときは、その者に対して、「新たに図書館資料の貸出しを行わない」ことを規定しているのに対して、根拠法である、八王子市図書館条例施行規則においては、「新たに図書館資料を貸出さないことができる」と規定している。当該要綱は、根拠法を上回る貸出規制について規定している。よって要綱又は規則の規定内容を改正し、整合を図るべきである、ということである。</p> <p>まず指摘事項について申し上げたが、続いて、意見内容「要綱での規定が不明な点について」についてであるが、</p> <p>要綱第2条では、図書館の館外個人貸出しの登録及び更新に必要な確認書類について、①市内居住者又は図書館の相互利用に関する協定を結んだ市に居住する者、②市内在勤者、③市内在学者、の対象者ごとに規定しているが、各対象者において確認すべき事項が明示されていなく、何を確認すべきか不明瞭であり、また、表示の仕方として、①の対象者に求める書類を列記し、②③の対象者には、①の対象者に求める書類に加える形で追加書類を示しているため、あたかも①の対象者で確認すべきであろう市内住所地が確認事項の基本になってしまっているように捉えられる。各対象者に確認すべき事項を明確にし、それに見合った確認書類を適正に示すべきということである。</p> <p>(ア) 指摘事項に対する措置内容</p> <p>市民共通の財産である図書館の貸出については、利用の公平性確保の観点から厳格に対応しているところである。その貸出の規制については規則の規定内容で事務を遂行できていることから、根拠法を上回っていた要綱の規定を規則の規定に合わせることを要綱を改正する。</p> <p>(イ) 意見事項に対する措置内容</p> <p>要綱第2条の、図書館の館外個人貸出しの登録及び更新に必要な確認書類について、登録区分（①市内居住者又は図書館の相互利用に関する協定を結んだ市に居住する者、②市内在勤者、③市内在学者）ごとに何を確認すべきか不明瞭であったため、</p>
---------------	--

<p>中央図書館長</p>	<p>口から 800m ほどの場所にあった医療刑務所の移転後、その土地をどう活用するかという計画になるが、将来イメージを「学びと交流が次の 100 年をつくる『まちに開いた新たな集いの拠点』」とし、施設コンセプトに「八王子の歴史と未来をつなぐ結節点」「誰でも気楽に立ち寄れる居場所空間」「まちの価値を創造するパブリックスペース」を掲げ、導入施設として「学び・交流・集いを促進する『憩いライブラリ』」と記載している。</p> <p>ライブラリという単語を挙げているが、これについては、図書館法による図書館なのか集いの場としての図書館機能の一部であるのか未定である。</p> <p>図書館サービスの基本的な考え方（中間まとめ）というところに戻ると、「第 3 次読書のまち八王子推進計画」は平成 27 年 3 月に策定したものであり、「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」は平成 28 年 3 月に策定されたものあることから当然、「第 3 次読書のまち八王子推進計画」には「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」に記載されている憩いライブラリという想定はしておりません。そのため、現時点での中間まとめとして、現時点での課題や方向性を整理し実現性の検討に移っていく、という考えの下に中間まとめを作成した。</p> <p>具体的な中身に言及すると、皆さんもご存知のように八王子市は広大な面積を誇ることから図書館のサービス拠点が少なく、地区図書室の分室化を進めていくこととしている。</p> <p>また、市内大学や近隣市図書館と公共図書館、小中学校との連携を強化していくことにも言及している。</p> <p>そして、図書館のニーズの多様化ということもあり、図書館を取り巻く環境が変化していく中で自宅、職場(学校)と異なる、居心地の良い第三の居場所という意味である「サードプレイス」としての役割が求められており、実現が求められている。</p> <p>そのためには、ソフト面・ハード面それぞれにおいて基盤整備が必要であり、司書である嘱託員が、能力を最大限に発揮できる環境を整えることにより、地域の情報拠点である図書館の組織基盤を強化したり、新たな市民ニーズに応えられるよう、リニューアルや大規模改修を計画的に進めたり、地区図書室の市民図書館化を進め、図書館機能の向上による読書環境の充実を図っていく。</p> <p>これらの基本的な考え方をもって、「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」に謳われている「憩いライブラリ」の実現性について検討していく。</p> <p>《報告事項》</p> <p>③東京都市町村社会教育委員連絡協議会 関連行事について</p> <p>11 月、12 月に行われる都市社連協行事についての説明（出席委員など）</p> <p>①第 48 回関東甲信越静社会教育研究大会（静岡県沼津市）（11/16～11/17）について</p>
---------------	--

<p>事務局</p>	<p>② 都市社連協 第3ブロック研修会（日野市）（11/18） ③ 市社連協 交流大会・社会教育委員研修会（立川市）（12/2）</p> <p>《報告事項》</p> <p>④ 教育委員会定例会における関連事項について</p> <p>議案については、非公開事項が多いこと、学校教育部関連のものが主であることから、省略させていただく。</p> <p>次に、教育委員会定例会協議事項の中で、姫木平自然の家の運営について生涯学習政策課が該当しており、現在議論しているところである。これについては、本審議会においても平成24年3月の答申において、当該施設は学校教育・青少年教育の施設としての役割を有しているため廃止すべきでないとの答申されている。答申から5年が経過したこともあり、八王子市全体では公共施設の見直しを行っており、議論を始めたところである。今後、進捗があれば随時、報告していく。</p>
<p>生涯学習政策課長</p>	<p>つづいて、教育委員会定例会報告事項について報告させていただく。</p> <p>今年は、市政100周年ということもあり、関連イベントに関する報告が主なものとなっている。いくつかビジョンフォーラムを開催しており、今後、開催されるものを含めて8つのビジョンフォーラムがあるが、その全てにおいて中学生等が大人に交じって参加していることが特色である。</p> <p>教育委員会定例会に関する報告は以上である。</p> <p>他に質問や意見が、無いようであれば、次回の会議日程は1月17日（水）とし、本日の会議は以上をもって終了とする。</p> <p>6. 閉 会（午後9時00分）</p> <p>上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。</p>
<p>会 長</p>	<p>八王子市生涯学習審議会会長</p> <p>八王子市生涯学習審議会委員</p>